

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	情報政策課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2170
	基本事業	電子行政の推進		事業実施主体	市
	事務事業	超高速情報通信網整備事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	すべての市民が情報化の恩恵を享受、実感できるよう、合併地区におけるケーブルテレビ網と超高速情報通信網を整備するため、第三セクターの民間事業者が光ファイバーでケーブルテレビ網を整備し、その回線を超高速情報通信網として活用する整備手法を基本として、事業主体となる民間事業者と協議する中で、超高速情報通信網の整備を推進する。		
3年度概要	庵治町東部・西植田町・東植田町・池田町の一部・菅沢町等の超高速通信網等の管理運営。 女木島、男木島におけるWifiスポットの管理運営		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等維持管理

【事業の目的】

対象(何を)	超高速情報通信網が未整備のため、超高速インターネットサービスが未提供となっている地域の市民
意図(どのような状態にしたいか)	未提供地域における超高速情報通信網整備による超高速インターネットサービスの提供

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
島しょ部整備率	%	0	0	81.1	81.1	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
	市域における整備率	%	目標値	99.8	99.9	99.9	99.9	100
	実績値	99.8	99.8	99.8				
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 未整備地域である島しょ部の光ケーブル等の整備に関して情報収集した。 (目標達成度)						(達成度) 99.9%	
							34点	
	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)						(達成度)	

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(予算)
トータルコスト	[千円]	15,969	17,581	15,050	15,731
(事業費)	[千円]	14,006	15,684	13,159	13,840
(職員人件費)	[千円]	1,963	1,897	1,891	1,891

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入) 超高速情報通信網世帯カバー率99.8%であり、未整備地域となる島しょ部の整備手法について情報収集を行った。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入) 島しょ部については、民間業者のサービスエリア拡大や、技術革新の状況を見ながら、整備手法について研究する。			

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	情報政策課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2170
	基本事業	電子行政の推進		事業実施主体	市
	事務事業	情報処理システム管理運営事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市の情報システム及び情報インフラを適切に維持・運用する。			
3年度概要	本市の情報システム及び情報インフラを適切に維持・運用する。			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等維持管理	

【事業の目的】

対象(何を)	本市の有する情報システム及び情報インフラ
意図(どのような状態にしたいか)	効率的な情報処理システムの管理・運用

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R.2
年間のシステム障害(30分以上)対応件数	件	3	4	4	3	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R.2
成果指標	インシデント解決率	%	目標値			100	100	100
			実績値			100		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) システム障害等インシデント発生時も迅速かつ適切に対応できた。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R.2
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(予算)
トータルコスト	[円]	792,317	792,679	982,615	951,744
(事業費)	[円]	713,807	716,809	906,995	876,124
(職員人件費)	[円]	78,510	75,870	75,620	75,620

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
職員用ノートパソコン、ネットワークプリンタ、プリンタサーバ・仮想基盤等、情報インフラ機器の更新が多かったが、利用課のインシデント発生時も迅速かつ適切に対応することで安定稼働できた。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
サーバ・端末等の適切な運用・維持管理を行い、本市のシステムが円滑かつ安定的に稼働するよう努める。			

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	情報政策課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2170
	基本事業	電子行政の推進		事業実施主体	市
	事務事業	庁内ネットワーク再構築事業		事業期間	平成28年度～平成29年度

【事業全体概要】

事業の概要	効率的な業務システム運営を図るため、危機管理センターの整備を見据え、老朽化した庁内ネットワーク設備を高速で安定した庁内ネットワークに再構築する。
-------	--

3年度概要	
-------	--

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備
--------	----------	---------	------------

【事業の目的】

対象(何を)	庁内ネットワーク整備再構築
意図(どのような状態にしたいか)	最新の技術を用いたネットワーク再構築を行うことで、回線の大容量・高速化を図るほか、管理負担の軽減を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
当該年度整備率	%	100	100	100		

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
成果指標	本庁舎ネットワーク再構築進捗率	%	目標値	52	100	100		
	実績値	52	100	100				
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 目標設定のとおり達成できている。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
	成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 目標設定のとおり達成できている。 (目標達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(予算)
トータルコスト	[円]	143,938	226,154	46,957	
(事業費)	[円]	136,087	218,567	39,395	
(職員人件費)	[円]	7,851	7,587	7,562	

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	完了
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

本庁舎情報通信管理設備の高松防災合同庁舎(危機管理センター)サーバ室への移転、同庁舎サーバ室の2次電源工事をを行い事業完了した。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

再構築によるネットワークを適切に運用管理を行う。

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	行政改革推進室
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2160
	基本事業	電子行政の推進		事業実施主体	市
	事務事業	社会保障・税番号制度推進事業（行政改革推進室分）		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	社会保障・税番号制度を効率的かつ円滑に推進し、行政の効率化や市民の利便性向上を図るため、必要なシステム改修を行うとともに、本市における個人番号の更なる独自利用事務やマイナンバーカード（個人番号カード）の利用拡大について、積極的に検討を行います。		
3年度概要	<ul style="list-style-type: none"> ・独自利用事務及び個人番号カード利活用の検討 ・効果的な周知・広報活動 ・マイキープラットフォームを活用した地域経済応援ポイントの継続実施 		
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	個人番号制度の円滑な導入・推進を図るため、市民に対し制度の周知・広報を行うほか、マイナンバーカードの空き領域を活用し、本市独自のサービス提供を可能とすることにより、カードの付加価値を高め、普及促進を図るとともに、市民の利便性を向上させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
普及促進キャンペーン年間実施回数	回	6	4	5	6	6

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
コンビニにおける証明書発行数	通	目標値	31,200	38,000	43,000	43,000	43,000
		実績値	4,881	9,104	13,194		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 証明書自動交付機の廃止に伴い、同交付機の利用実績がある者に対して、マイナンバーカードへの切替及びコンビニ交付サービスの案内をするなど、利用促進に努めたことにより29年度に比べ交付数が増加したが目標値には達しなかった。 (目標達成度)						(達成度) 30.7% 10点	
マイナンバーカード交付枚数	枚	目標値	130,720	222,720	300,000	300,000	300,000
		実績値	32,947	41,683	52,830		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） タブレット端末を使用し、写真撮影及びインターネット申請を行うサービスを、市民課窓口で実施しているほか、イベント会場、確定申告会場でのキャンペーンや企業・団体等の一括申請など、カードの普及に努めているがマイナンバーカードを所持するメリットが少なく、交付が進んでいない。 (目標達成度)						(達成度) 17.6% 6点	

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	12,676	12,220	12,239	12,309
（事業費）	[円]	114	81	140	210
（職員人件費）	[円]	12,562	12,139	12,099	12,099

【評価】

評価ランク (A～D)	D	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	改善継続
-------------	---	---------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

マイナンバーカード利活用策の一つとして、新たに高松市ポイントのサービスを開始したが、ポイントを使用できるまでの手続きが複雑であり、カードの普及につながっていない。手続きの一部支援について周知するほか、効果的なキャンペーンを行うなど、カードの普及を促進することが課題である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

証明書のコンビニ交付や高松市ポイントのサービスを周知し、マイナンバーカードの利便性を感じていただくなど、様々な機会を捉え、カードの普及を図るための効果的な広報やキャンペーン等の活動を行っていく。また、他機関との情報連携やマイナポータル運用については、国のスケジュールに基づき、円滑な運用ができるよう体制を整えていく。

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	市民課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2287
	基本事業	電子行政の推進		事業実施主体	市
	事務事業	社会保障・税番号制度推進事業（市民課分）		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	社会保障・税番号制度を効率的かつ円滑に推進し、行政の効率化や市民の利便性向上を図るため、必要なシステム改修を行うとともに、本市における個人番号の更なる独自利用事務やマイナンバーカード（個人番号カード）の利用拡大について、積極的に検討を行います。		
3年度概要	個人番号カード交付 証明書コンビニ交付サービス 電子証明書等更新		
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型

【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	個人番号制度の円滑な導入・推進を図るため、市民に対し制度の周知・広報を行うほか、マイナンバーカードの空き領域を活用し、本市独自のサービス提供を可能とすることにより、カードの付加価値を高め、普及促進を図るとともに、市民の利便性を向上させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
普及促進キャンペーン年間実施回数	回	6	4	5	6	6

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
コンビニにおける証明書発行数	通	目標値	31,200	38,000	43,000	43,000	43,000
		実績値	4,881	9,104	13,194		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 証明書自動交付機の廃止に伴い、同交付機の利用実績がある者に対して、マイナンバーカードへの切替及びコンビニ交付サービスの案内をするなど、利用促進に努めたことにより、29年度に比べ交付数が増加したが目標値には達しなかった。 (目標達成度)						(達成度) 30.7% 10点	
マイナンバーカード交付枚数	枚	目標値	130,720	222,720	300,000	300,000	300,000
		実績値	32,947	41,683	52,830		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） タブレット端末を使用し、写真撮影及びインターネット申請を行うサービスを、市民課窓口で実施しているほか、イベント会場、確定申告会場でのキャンペーンや企業・団体等の一括申請など、カードの普及に努めているが、マイナンバーカードを所持するメリットが少なく、交付が進んでいない。 (目標達成度)						(達成度) 17.6% 6点	

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	211,473	118,828	125,650	140,551
（事業費）	[円]	180,069	88,480	95,402	95,179
（職員人件費）	[円]	31,404	30,348	30,248	45,372

【評価】

評価ランク (A～D)	D	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	改善継続
-------------	---	---------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

マイナンバーカードの普及率が低迷しているため、市民課窓口でのオンライン申請補助サービスの利用を推進したことにより、一定の効果はあったが、依然目標値に届かない状態である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

マイナンバーカードの普及を図るため、行政改革推進室と連携し、引き続き様々な機会を捉えた効果的な広報やキャンペーン等を実施するとともに、オンライン申請補助サービスの利用推進や、カード未交付者に対し積極的な受取動奨を継続する。

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	情報政策課
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2170
	基本事業	電子行政の推進		事業実施主体	市
	事務事業	社会保障・税番号制度推進事業（情報政策課分）		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	社会保障・税番号制度を効率的かつ円滑に推進し、行政の効率化や市民の利便性向上を図るため、必要なシステム改修を行うとともに、本市における個人番号の更なる独自利用事務やマイナンバーカード（個人番号カード）の利用拡大について、積極的に検討を行います。
-------	--

3年度概要	情報提供ネットワーク運用 マイナポータルのサービス検索・電子申請機能（ぴったりサービス） 中間サーバー等運用
-------	--

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型
--------	------	----------	---------


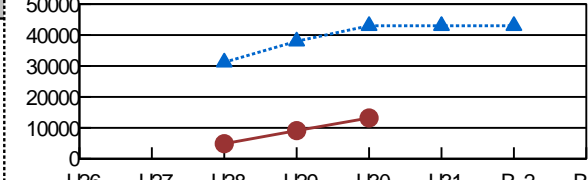

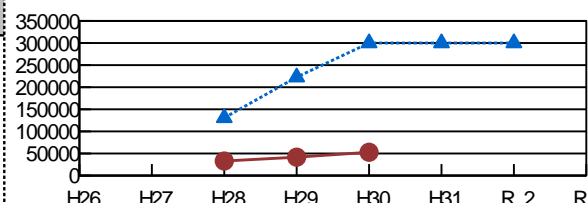
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	個人番号制度の円滑な導入・推進を図るため、市民に対し制度の周知・広報を行うほか、マイナンバーカードの空き領域を活用し、本市独自のサービス提供を可能とすることにより、カードの付加価値を高め、普及促進を図るとともに、市民の利便性を向上させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
普及促進キャンペーン年間実施回数	回	6	4	5	6	6

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
コンビニにおける証明書発行数	通	目標値	31,200	38,000	43,000	43,000	43,000
		実績値	4,881	9,104	13,194		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 証明書自動交付機の廃止に伴い、同交付機の利用実績がある者に対して、マイナンバーカードへの切替及びコンビニ交付サービスの案内をするなど、利用促進に努めたことにより29年度に比べ交付数が増加したが目標値には達しなかった。 		(目標達成度)					(達成度) 30.7%
							10点
マイナンバーカード交付枚数	枚	目標値	130,720	222,720	300,000	300,000	300,000
		実績値	32,947	41,683	52,830		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） タブレット端末を使用し、写真撮影及びインターネット申請を行うサービスを、市民課窓口で実施しているほか、イベント会場、確定申告会場でのキャンペーンや企業・団体等の一括申請など、カードの普及に努めているが、マイナンバーカードを所持するメリットが少なく、交付が進んでいない。 		(目標達成度)					(達成度) 17.6%
							6点

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]	124,360	41,796	37,965	41,905
（事業費）	[円]	108,658	34,209	30,403	34,318
（職員人件費）	[円]	15,702	7,587	7,562	7,587

【評価】

評価ランク（A～D）	D	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続
------------	---	--------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

国等の通知をもとに標準レイアウト変更対応等、円滑に実施できた。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

情報連携については、31年6月から国の標準レイアウト変更に対応するため、各システム改修を実施する。また、ぴったりサービス（介護ワンストップ）の導入に向け国の動向に注意し、効率的なシステム改修を実施する。

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	IC推進室
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2172
	基本事業	電子行政の推進		事業実施主体	市
	事務事業	官民データ活用推進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	市民サービスの拡充や経済の活性化を始め、地域住民やコミュニティ、本市が抱える地域課題の発見・解決につなげるため、本市が保有する公共データのオープン化など、官民データの利活用の推進を図ります。
-------	---

3年度概要	オープンデータサイトの運用・保守 オープンデータ利活用人材の育成 スマートシティたかまつ推進プランの推進
-------	--

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	5-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	------	----------	----	---------	-------------------

【事業の目的】

対象（何を）	公開可能なデータ
意図（どのような状態にしたいか）	データのオープン化を推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
オープンデータ利活用イベント等の開催回数	回		1	1	1	1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2	
成果指標	オープンデータ件数	件	目標値		61	90	120	150	
			実績値		61	75			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標には届いていないが、国が推奨するデータのオープン化や新たなオープンデータサイトの構築により、データ利活用の環境を整備することができた。 （目標達成度）								（達成度） 83.3% 29点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2	
			目標値						
			実績値						
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]		9,655	22,820	18,356
（事業費）	[円]		2,068	7,696	3,232
（職員人件費）	[円]		7,587	15,124	15,124

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

本市のICT施策に関する総合的な指針として、スマートシティたかまつ推進プランを策定したほか、オープンデータサイトを構築した。今後、データを利活用できる人材の育成が必要である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

スマートシティたかまつ推進プランに掲載している各種取組を推進するとともに、産学官連携の下、データ利活用人材の育成を進めていく。

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	総務局
	政策	健全で信頼される行財政運営の確立		課(室)名	IC推進室
	施策	効率的で効果的な行財政運営の推進		電話番号	087-839-2172
	基本事業	電子行政の推進		事業実施主体	市
	事務事業	データ利活用型スマートシティ推進事業		事業期間	平成29年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	データの利活用により、本市が抱える地域課題の解決を図るため、産学民官の多様な主体が参画する「スマートシティたかまつ推進協議会」と連携し、共通プラットフォームを活用して、様々な分野のデータの収集・分析等を行います。				
3年度概要	システム運用・保守 新分野のシステム構築（情報提供ツール） 協議会・ワーキンググループ等の開催 ワーキンググループの実証支援 スマートシティたかまつPR				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	5-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備

【事業の目的】

対象（何を）	共通プラットフォーム
意図（どのような状態にしたいか）	複数分野のデータ収集・分析や新たなサービスの創出

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
スマートシティ推進協議会・WG等の開催件数	件		6	33	19	19

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
成果指標	共通プラットフォームで収集・分析するデータ種別数	件	目標値		4	6	8	8
			実績値		4	4		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） データ種別は増えていないが、今後の増加につながるよう、福祉・交通分野で実証事業を実施したほか、防災分野では、新たなIoT機器の設置に取り組んでいる。 (目標達成度)							(達成度) 66.7%
								23点
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（予算）
トータルコスト	[円]		95,531	25,219	45,124
（事業費）	[円]		87,944	10,095	30,000
（職員人件費）	[円]		7,587	15,124	15,124

【評価】

評価ランク (A～D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	拡充
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

産学民官の多様な主体が参画するスマートシティたかまつ推進協議会において、防災・観光・福祉・交通など、様々な分野での取組を推進したほか、ワークショップや勉強会などを開催し、協議会の活性化に向けた取組を進めた。
今後も、取組分野を広げ、他の自治体への横展開を進めていく必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

スマートシティたかまつ推進協議会において、産学民官の多様な主体と連携しながら、新たな分野でのデータ利活用や、IoTやAI等の、先進的なICTやデータを活用した取組を積極的に推進するなど、スマートシティたかまつ推進プランの各種施策を着実に推進し、本市が目指す「スマートシティたかまつ」の実現に向けて取り組む。